原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

3/17

名前は裏面に記入してください

今回の原爆先生の話を聞いて、原爆に対する気持ちが変わったから「怖い」になりました。なぜなら、広島に落とされた「リトルボーイ」に含まれていたウランの60分の1しか核分裂していないのに広島市のほとんどが火焼け野原となり広島市の人口が35万人なのに対し、被爆した人の数が24万人、その中で死亡した人は14万人と、5人に1人が死亡しているからです。もしもウラン(60kg)が全て核分裂していたらと思うと、すごく怖くなります。なのに、今ではアメリカはもちろん、ほとんどの国がそのような物を所持しているので、今度戦争が起きたら、国どころか地球が、ぼろぼろになってしまうのではないかと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

今回受講して思ったことは、原子力爆弾によって失われた方々の亡くなり方や火葬のしかたなどが悲惨だということです。まぶしい閃光がはしり蒸発するように亡くなられた方、ひふがただれ皮がき苦しみ亡くなっていく方、暑さにたえられず川に飛び込み川の水まで熱線により蒸発するほどの熱をおびてやでられたように亡くなった方、このような死亡原因の多くは、原子力爆弾の爆発によって発生した熱が原因です。14万人もの多くの命を一度でうばった原子力爆弾のおそろしさを忘れてはいけないし、14万の命一つ一つを忘れてはいけないので終戦から何十年何百年たっても8月6日と8月9日はけして忘れてはいけない日であり世界中が忘れた時は、広島や長崎でおきた悲劇がまたおこる時だと私は、思います。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

3/16

私が原爆先生の話を聞いて印象に残ったことは、爆発した表面の温度が太陽の温度よりも高い、7000℃だということです。この温度だと人間が一瞬で灰になってしまうことを初めてしりました。また、爆発ではだが焼けてただれてしまったというのを聞いて、とても悲しんで、私がそんなのを見たら恐怖でたえられないんじゃないかと思いました。

昔の科学の技術だと、60kgのウランのうちの1kgがかくぶんれつしたが、今の技術だと、もっとたくさんの量がかくぶんれつして、広範囲に被害がおよぶのではないかと思い怖くなりました。

私は、今日のお話を絶対に忘れてはいけないことだということを感じました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆先生の話を聞いて、
元々、マンガなどでそこそこの知識は
あるものの先生がおっしゃっていたような、
生々しさまでは知識になかったのでものすごく
驚かくした。
それと、池田先生の語っていたような、
臨場感のある、間や効果音などで
聞いていてより生々しく感じられたし、
そしてなにより飽きなかった。それに関連づけて
聞いていて感情がこめられていた、抑揚などで
聞いていて夢中になったし、真似したいと
思った。
あと個人的に印象にのこったのが爆撃機
の名前が操じゅう者の母親の名前なのが
すごく、胸くそが悪いと思った。
わざわざ話してくれてありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

原爆によって、広島と長崎の人たちた大きな被害が出たのは知っていたが、その背景をここまで生々しく聞いたのは初めてで、その悲惨さを実感しました。

その原爆によって被害にあった人たちが、今も苦しんでいる事や、灰になってしまったり、皮ふがただれてしまったりしたことは、もちろん怖かったけど、それよりも、その日本に落とされた原爆よりも、威力がある物を世界の国々が保有していることが、とても恐ろしく思えてきました。

話を聞いていて、聞きたくなかった表現もたくさんあったけど、これも忘れてはいけないことなんだと思う

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

今回、貴重な戦争のお話を聞かせていただいて、とてもよかったです。
今まで、戦争のお話は、いっぱい聞いてきたけれど、ここまで、とてもくわしく聞けることはなかったので、いい話ではないけれどよかったです。今でも、内戦などがつづいている国があるので、今すぐにやめてもらって、世界中の人々が安心して暮らせるようにしてくれればいいなと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

3/16

名前は裏面に記入してください

私は、原爆について あまり知らなかったけれど、今日話を聞いて原爆について知ることができました。原子爆弾をパラシュートでおとしていたとまちがえて知られていたこと。爆発した表面が太陽の表面6000℃より1000℃たかいこと。ウラン60kgを1kgだけおとしたこと。などたくさんのことを知ることができた。太陽の温度などふれられないくらいあついのにそのあつさが体にふれるなんて考えれない。、考えたくもたいと思った。今の私達は昔のことを知らない。だから、知ることも大事だけどすごくつらいこと。だけど、昔おきたことを知れて良かった。きちょうなお時間をありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

3/16

私は広島に行ったことは何回もあって、原爆資料館には行ったことがありました。今回話を聞いて自分も確かにそうだなぁっと共感することがありました。でも、知らないこともたくさんあり、いろいろ大変なんだと思いました。私はこの話を聞いて、太陽は6000℃とものすごくあついと思ったけど、爆弾は7000℃もあって太陽よりもあついんだとおどろきました。爆弾がおちてから、広島市の人達はみんなあつくて防火用水おけに入っていたときいて、それなにあつかったんだと思いました。でも、この話はおばあちゃんなどから聞いていて、原爆ドームのすぐ近くのいにみんなとびこんだと話を聞きました。

8月6日の広島、8月9日の長崎のことは絶対に忘れません。この話をまだ知らない小さい子もちゃんと理解して伝えていかないといけないと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は「死体」や「皮ふがはがれる」などを何度も聞いて、とても不快な気分になりました。原爆の危険さや平和の大切さなどを伝えることはとても大事なことだと思うし、リアリティーがあっていいとは思うけれど、何度も言われると、心が痛いので、もうすこしへらしてほしいです。

原爆の落ちた時の音がすごく大きくてすごいはくりょくがあったけれど、音が大きすぎてすこし耳が痛かったです。

私は、今日の原爆の話を聞いて、どのくらいの温度だったが、候補になった都市に横浜が入っていたことなど初めて知ったことばかりで、原爆の怖さがよく分りました。

今回の特別授業を受けられて、本当によかったです。

また同じような戦争が起こらないようにするには、戦争の怖さをしっかり伝えていくことが大事だと思いました。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

今回の話の中で1番怖いと思ったことは、
リトルボーイが投下されたときの上空の温度です。
その温度が太陽よりも熱いということを
知って とても驚きました。
また、それによって被爆をした人は
赤くやけどしたうでを斜め前に出して
歩いていたり、川にとび込んだり、
傷口にうじ虫がわいているところを想像
すると、当時の怖さを改めて感じる
ことができました。
広島市民の5人に1人が原子力爆弾によって
爆死したことを知り、もう戦争は起こって
ほしくないな と強く思いました。
今の平和の日本で戦争が起こるとは
思えませんが、いつ始まるか分からないので
とても怖いです。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

3/16

原爆は、自分が思っていた形、重さなどが全然違っていました。僕が思っていたのは、もっとミサイルみたいな、細長いものかと思ったら、落すだけで、形は、短かく太かった。重さは以外と、約4t もあり中には爆物がいっぱい入っている人だなと思いました。そんな原爆は上空600mで爆発して爆発したところは、太陽より1000℃高い、7000℃もして、地上は3000℃も、温度が上がり人々は焼けてはいになり衝撃波で、こなごなに多くの人が死んで、想像もできないぐらいおそろしいんだなと思った。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/14

かくばくだんは、ばくげき機からはなれたとき、4kmほうぶつ線状に行ってから、上空600mでばくはするということをはじめてしったのでも、なんで、地上から近い地点でおとさなかったのか疑問に思った。

もし、原子爆弾にあるウランがすべて反応したら、長崎や広島だけでは収まらず、九州が無くなるのではと思うと、すごく怖くなった。あと、手紙の義三さんが言った「まれいすまる」といたときぼくは写真を見ただけでゾッとして身ぶるいしてしまったのに、本当の大やけどでひふがただれた人をおぶって運んだ義三さんはすごく勇かんだと思ったと同時に自分もそんな状況におちいったときは義三さんのようにしたいと思った。

ビデオをみたとき、ひどく号泣しながら戦争のひさんさや悲しさを伝えていてぼくはひどく胸がいたくなった。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

3/16

名前は裏面に記入してください

原爆のことについて、あまり深く考える機会がなかったけど、池田先生のお話を聞いて、当時の様子などを詳しく知ることができ、良かったです。原爆が投下されたときの、町には何もなく、灰色一色だったということに驚きました。また、人間の様子や姿をリアルに説明して下さり、とても恐しいと思いました。太陽の表面よりも熱い7000℃や、地面でも3000℃になるということは自分には想像できないし、これほどの状態で助かった方は本当に奇跡だと感じました。原爆により亡くなってしまった方も助かった方も、兵隊の方も、とても恐ろしい思いをしたり、大変だったりしたことが改めてわかりました。今日していただいたお話はこれから先も絶対に忘れてはいけないし、もっとたくさんの人にも伝えていかないといけないと思います。修学旅行で、広島を訪れたときにもこのことを思い出してさらに興味を深めたいと思いました。今日は貴重なお話をたくさんしていただき本当にありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

3/16

名前は裏面に記入してください

僕は原爆先生の特別授業を受講して、原子爆弾投下にいたるまでのことを学ぶことができました。原子爆弾は、直径5kmを超えている。原子爆弾の熱線や衝撃波がよくとどく平野であること。そして今まで1度も空襲がなかった都市に落とされることになりました。自分はこの3つの条件がもうけられていることを初めて知りました。また、原爆リトルボーイはウランを60kg積んでいて、その内核分離したウランは1kgしかなかったのに、信じられないほどの被害がでていて驚きました。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

3/16

ぼくがこの講演を聞いて一番さん
しょうにのこっていることは、ばくだん
のビデオです。リトルボーイの発射され
たすがたは、すてもこわかったです。
横浜も原爆をうけるこうほだと
思うと少し不安でした。さいごに
原爆のこわさをしることができま
した。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

先生のリアルな情景を表す言葉が、自分の頭にその時の様子をくっきりとイメージさせました。トラックに引き上げようと引っ張った時に、皮がズルッとはがれ落ちて…などの言葉は、自分の心に原爆に対する恐怖心を植えつけたと共に、自分の頭にその状況がリアルに表されました。数々の奇跡が折り重なって生存している方々の証言を聞くだけでも、考えられもしないようなおそましい状況の中で、多くの困難に打ち勝ち生き抜いたことがどれだけ大変だったかが染みじみと伝わってきました。原爆の恐ろしさが、言葉の連なりだけでこんなにも感じられるなら、きっと被爆した方々は恐怖や悲しみや苦しみのどん底に落とされていたんではないかと思いました。本日の講演、とても勉強になりました。ありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

3/16

名前は裏面に記入してください

今日の話を聞いて、率直に「こわい」と思いました。「人の皮膚がはがれ落ちた」「町全てが灰色だった」「全身やけどしている人がいた」などの言葉にゾッとして、原爆の恐ろしさを思い知りました。私の祖父は幼い頃に姉におぶられて逃げた経験があると言っていました。あまり詳しくは知らないのですが、この機に当時の話を聞いてみたいと思いました。原爆の破壊力がどれほどすごいのか、どれほど影響力があるのか、この授業で身にしみて感じました。見ていた資料に「京都」「横浜」の名前があったことに驚いてしまいました。私に身近な都市まで候補になっていたので他の人より人一倍ビックリしました。また、広島も私にとって身近で、今日の授業で学んだことは忘れていけないと思いました。私はプロ野球チームの広島東洋カープのファンで、広島に行くたびに原爆ドームや資料館に訪れます。その時原爆ドームを見て何とも言えない気持ちになったことを覚えています。今回の授業を忘れず、今の平和な生活に感謝の気持ちを持って日々をすごしたいです。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業を受けて、自分が思っていた以上にもっとざんこくなものなんだなと知ることができました。一番印象に残ったのは、話の途中で突然大きな音が体育館に響きわたったことです。けれど、実際はもっと大きな音で、体育館ではたえることができたけれど、きっと実際ではたえることができないだろうなと思いました。また、助かった人の中にも、原爆病として何十年たっても苦しんでいる人がいるということを聞いて自分も悲しい気持ちになりました。たった1kgのウランで、広島全体を爆発させてしまうことを聞いて、とてつもない力を持っているんだなと初めて知った。

また、このような悲しいことは絶対にくり返してはいけないと思うし、次の世代にも、広めていかなければいけないと新めて思うことができました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/16

原爆先生のお話しを聞いて、初めて知ることや、驚くことばかりでした。途中ですごく静かになって、何が始まるのだろうと思っていたら急に大きな音が体育館に響いて、すごくびっくりしました。けれど、こんな程度では済まないくらいもっと大きな音を想像すると耐えられないだろうなと思いました。一回あのような音を聞くとすごくトラウマになってしまって、本当の原爆にあった人は同じようにもっともっと辛いおもいをしているんだと悲しい気持ちになりました。アメリカのねん密な計算や技術で作られたものが日本人をこんなにも苦しめているなんて知りませんでした。途中で人間の皮ふがボロボロはがれ落ちなどの表現を聞いたけど、そんな状況の中で必死に頑張った池田義三さんは本当にすごいなと思いました。池田先生が言ったように、原爆のことを後の時代の人にもちゃんと知ってもらって、二度とこんな悲劇が起こらないように、平和を願いながら3年生の修学旅行に行こうと思います。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

アメリカが無計画に広島、長崎に原爆投下をしたのではなく、どの都市に落とすか、なるべく被害を受けるように平土地であるところを狙おうとするなど、原子爆弾はこれだけ多くの人を殺したのに、敵国はどれだけたくさんの人を殺そうとしているか分かり、戦争の悲さんさを感じた。

また、原爆の被害を受け、ひん死の状態になりながらも必死で助けを求める人と、それを助けられない兵隊の人のそれぞれの苦しみがものすごく伝わってきた。

特に、死体を運ぶときの、皮がはがれたりただれたりするとても不快な感覚や、もはや人かすら分からないものをたくさん見て、悪臭がただよう中ではきながらも作業しなければいけなかったことからつらさも、核をはじめとした兵器のおそろしさが伝わってきた。戦争はもうしてはならない事、核が使用されるのはあってはならない事だと強く感じた。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

今日、行われた原爆先生の特別授業を受講してみてまず、自分が原爆に対して知っていることの少なさに、驚きました。私が自信をもっていえる知識は広島と長崎が原爆の被害にあったということだけでした。ですから、広島と長崎の他にも小倉や、横浜、京都までもが原爆をおとされる候補都市だったなんて、本当に驚きました。私の、祖父母の家が京都に昔からあったので、少しほっとしたのも本音ですし、古い歴史的文化財を壊さないでくれたアメリカの人たちを少しみなおしました。でも、そもそも原爆をおとす考えをもった人たちということを、今回改めて教えてもらうと、とても悲しくなりました。人間の皮や肉がとれ、人間らしくないものと言われても、想像はできませんでした。ただ、この人たちは、何がしたかったんだろうと疑問に思いました。他にも、人間がほんの1秒で灰になって消えるなんてことは本当にあるのでしょうか。そんな物を作ってしまった人間をとても恐しく感じました。最後に見た池田義三さんのビデオをみて、「言葉に表せないほどのつらい地獄の世界」なんて、この世にあってはならないと深く思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

3/16

今回はありがとうございました。私は他の本で原爆のことは知っていました。しかし池田さんからのお話は本よりも生々しく，言葉に表せないような苦痛を味わわされたのだと感じました。また，爆弾の大きさや熱さを知り，恐ろしくなりました。もっと自分は4，50度の熱を想像していて，太陽よりも熱かったことが一番の驚きでした。そんなものが地上わずか600mまで接近したら，恐怖でしかないと思いました。そしてその恐怖を感じるまもなく命を落としてしまった方が2万人もいたこともまた驚きました。

池田義三さんの手記を聞いたとき，人が人でなかったなどの表現があり，実際に見た人の衝撃が少し伝わってきました。死体の収容は，本当に辛かったのだろうと思いました。後のインタビューでも，資料館の再現物は「きれいすぎる」など想像を絶する体験をされたことが分かりました。

現在を生きる私たちにはかけ離れていた生活，体験を聞くのは貴重なことです。恐怖や苦痛，全てを知るのは不可能ですが，私たちも後世に語り継いでいき，二度と同じことが起きないことを願おうと思います。ありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

3/16

今日、池田眞徳先生の話を聞いて驚いたことは、原子爆弾で被爆した人たちが広島市の人口の70%をしめていたことです。広島市の人口は三十五万人に対して被爆者数が二十四万人もいてとてもびっくりしました。そして、原子爆弾で死んでしまった人が十四万人もいたことにも驚きました。池田先生が五人に二人が死んでしまっていたとおっしゃっていた時に自分の家族は五人家族なのでその中から二人も死んでしまうなんてとても想像できませんでした。

他にも、広島のほぼ全部を石灰土変した原子爆弾の力がゴルフボールほどのウランという物質だったなんてとてもびっくりしました。今日は本当にありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆の話を聞いていままで、太陽ぐらいあついとは知らなくて、約2万人はいしゅんで消えてしまったときいて、ものすごいあつさだったので、とてもこわいなと思いました。候補の都市のところで、私たちのいる横浜が書いてあったので、もし原爆が投下されていたら、どうなっていたのだろうと感じました。音速よりも、衝撃波のほうが毎秒100mくらい速かったので、すごいいりょくだと思いました。原爆が投下されたところの近くで、電話きょくのトイレの中にいた人が、きせき的に生きていたと、知って、とても運が良いと思い、かんしんしました。広島市の5人に2人は死んでしまっていて、生きていたのに、熱風でやけどになりそれで、ただれて死んだ人が、12万人くらいいたので、とてもびっくりして、すごくこわいし、また起こってほしくないと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

今回の原爆先生の特別授業で、池田さんは、たったの17歳、現在でいうと、高校2年生の年齢で兵隊になったというのは、とても驚きました。
さらに、実体験者として、被爆者の人々が苦しんでいる姿、助けを求めている姿がとても印象に残りました。アメリカ側も原爆を投下するにあたって、直径5kmを超えているか、平野であるか（人口が多い所）、空襲がなかったかなど相手国もよく考えて原爆を落としたと知りました。
さらに広島の被爆率は、5人に1人という約20%という高い確率であると知って驚きと絶望が交ざりあっていました。私の母の祖父も経験者らしく、母は、戦争について聞いてみたが答えてくれなかったらしいです。
それほど戦争というのは恐怖の塊であることが分かり、池田さんは自分がつらくても後世に伝えようとしている姿が私にとって一番印象に残りました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

私は今日、原爆先生の特別授業を聞いて、私が思ってた以上に生々しいお話でした。遺体をもちあげる時、焼けただれていた皮膚がする。とぬけたというお話や、水をためる場所にほぼ必ず遺体があり、そのすべてが、水が腰の位置というところに恐怖心が湧きました。
何より一番怖かったのは、原爆先生の「ドカーン」といったときが怖かったです。でも実際にその音を聞いた人はもっと怖かっただろうと思いました。原爆が爆発した所が100万℃で、これは太陽の表面温度よりも何倍も熱いということにおどろきました。そんなものを人間が作れたということが何よりも怖かったです。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

実際の被爆地に行っていた人の話をもとにしていたため、生々しい表現などがそのまま使われていて、原爆の悲惨さがとても伝わった。

60kg つまれていたウランのうちの 1kg が反応して直径200mの赤い玉ができたのなら単純に60倍して、12000m、すなわち、12km もしくはそれ以上の赤い玉ができる。質問の時間の時に思いつかなかったのですが、もし60kg全てが反応していたら、ボックスカーもまきこまれていたのではないでしょうか、もともとアメリカ軍は60kg全て反応させる気だったのでしょうか どちらにせよ、人の命をこんなにも簡単に扱ってしまうのは人間としてだめなことだと思いました。状況や慣れで非人道的になれてしまうことがとても恐ろしいと感じました。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

1

核兵機にふくまれた核の材量がゴルフボールほどしかない1kgのウランだとしっておどろいた。アメリカは日本の文化をほろぼさないように京都をさけて核をおとしたということもとてもおどろいた。日本はいま、1tをこえるウランをもっているという話をどこかできいたことがあって、それは核を1000個以上つくれるらしいのですが。今日の話をきいて核をもう2度と使ってほしくないと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

この話を聞いて、広島に投下された原爆は約4トンの重さでその中には1kgの化学物質のウランがはいっていて、ばくはつすると、広島の都市を粉々にするぐらいのいりょくだと知りました。

また、原子爆弾を単発投下するにはその着陸が直径5kmの平野、ばくげきがさえぎられていなかた地域など、この三つの条件で原爆をおとしていることを知りました。

後、原爆は化学を使って、どうやったら、その目的地の場所におとせるのかや、その原爆にパラシュートをつけておとしたわけではなく、ラジオゾンデというは物をつけておとしていることや、原爆のばくはつ時の熱量は真上中で100万℃、外側で7000℃という熱さで、太陽よりもまついこと、その後の電子撃波や放射線もあり、原爆は本当におそろしい物だと知りました。来年は京都や広島や奈良に行くので、原爆の資料館でその時の様子はどうだったのか知ってみたいです。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

今日、僕が先生の話を聞いて今まで以上に戦争がこわいと感じました。池田義三の体験を先生が話したとき、爆弾がいきなり落とされている感じが伝わりました。それが本当にあったことだと思うととても恐怖を感じました。さらに爆発させるためにつかう、ウランを60kg入れているのに1kgしか反応しなかったのに、広島を崩壊させていたので、60kg反応したら想像につかないぐらいものすごいことになるんだろうと思いました。そして今では昔の1000倍の力がある核兵器を色々な国がもっていて、これで戦争がおこったら日本はなくなってしまうのではないかと思ったら戦争はもうしたくないなと思いました。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

3116.

私は、原爆先生の特別授業を受講してみて、1番印象的だったのは、爆弾が落下して、その原料の、60kgのウランが、1kgしか反応しなかったことです。その、1kgが、ゴルフボール1個分の大きさだったこともビックリした。私は今回の原爆先生の話を聞いて、今まで、全然知らなかった、話を100分間も聞けて自分のためにもなったし、今日で、もっと原爆のことについて、知りたいと、思いました。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

1

名前は裏面に記入してください

今日の原爆の話をきいて、ぼくは、何も知らない人たちが
いきなり3000どでやけ死んでしまったのはとてもつらいと思いました。
体からひふがはがれおちるほどの大やけどでもう
人間のすがただと見えないほどになっていたと聞いたときに
どれほどのいたみやくるしさは、わからないけれど
そうぞうしただけでとてもこわい感じになります。
そしていきのびようとして水の中にはいってもやであがったように
なってしまい、ほとんど生きかえらないままにじごくのようだったようとう
だったと思います。そしてそのときの戦争によってできた、原爆ドーム
が戦争がどういうものだのかを伝えている気がします。
今回の原爆先生の話をきいて広島の原爆ドームを見たときに
今回の話をおもいだしてもっといろんなことを学びたいです。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

池田さんの授業を聞いて、たった1kgのウランがこんなに被害をおよぼすと知ったとき、人間の作るものは残酷で恐ろしいと思った。今でも原子爆弾を保有している国があるけど、絶対に使ってはならないし、後世にもその思いを引き継がないといけないと強く感じた。

私達は原爆を体験していないけど、話を聞くだけでも本当に怖かったから、実際に体験した人達はもっともっと怖かっただろうし、心も身体も痛かったのだろうなと感じた。

私達はこれからも広島や長崎で起こったことを忘れてはならないし、自分たちが平和でいられることの幸せを知らないといけないと実感した。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

3/16

名前は裏面に記入してください

今日の話を聞いていて、どの話も生々しくて怖かったです。特に驚いたのは、リトルボーイの中にあった60kgのウランのうち、たった1kgしか反応しなかったのに広い範囲に大変な被害があったことです。もしこの60kg全部が反応してたらどうなっていたのかを想像するともっと広い範囲にこの被害でていたと考えられて鳥肌がたちます。またこの他にも原爆をうけて、体がボロボロな人が何人も倒れていたり、うつっていることを想像するととても怖いです。最後の映像で池田義三さんが話ながら涙していたのもそういう経験が今でも思い出される程恐ろしいものだったと思いました。

3年生になって修学旅行で展示のところへ行く予定なので、今日の話を思い出して、真剣な態度で見に行こうと思います。今日された話は忘れられなくて忘れてはいけない話だったと思います。今被爆者の人達が減っていますが、ずっと未来にもこのような事はもうないようにと経験者の話が受け継がれていけば良いなと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

3/15

名前は裏面に記入してください

（そっ直れ言って）原爆の恐ろしさが身にしみて感じました。（小説のあの表現だからかな…）その時避難してきた人々が"人間のようだけれども、という状態だったり、手を持ってトラックに上げようとしたら皮ふがはがれ落ちたり、川が原爆による死体でうめつくされていたり。話を聞きながら頭の中でその情景を想像していたのですが、その想像した情景はとても恐しいものでした。その後、原子爆弾のことやそれが落とされた背景などを知って、とても驚きました。原爆投下の候補の中に横浜があったこと、エノラ・ゲイの名前の由来がティベット大佐の母親の名前だったこと、熱線や衝撃波、放射線によって人々が炭になりそれがくだけちったこと、何よりも驚いたのがリトルボーイのウランが1kg核分裂しただけで広島市が全焼（？）したことです。あの60kgのウランが全て核分裂してしまっていたら、私の住んでいる神奈川ももしかしたら被爆していたかもしれないと考えるととても怖くなります。私は"もうこんなことは起きてほしくない"と強く思いました。なぜなら、ごんなこと（と言っていいのか分からないけれど）原子爆弾で多くの人が命をおとしてほしくないし、また、何よりも平和が一番だと私は考えるからです。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

3/16

名前は裏面に記入してください

先生が最後におっしゃっていたウランが1kgではなく60kgが発泡していたら日本全体がほうかいして生物が住めないようなことになってしまったと僕は思いました。今日の原爆のお話しでは生々しい戦争の実体やその戦争の内容などをこと細かく教えてもらったのでいろいろな内容が頭の中に入ってきてとても悲しい気持ちになりました。

悲しい気持ちは1秒前には生きていた人がすぐ焼け死んでしまったからという理由や戦争のむなしさが分かったからという理由があるからです。もっと多くの人にこの原爆のおそろしさを知ってほしいと思いました。

また多くの死者の方がかわいそうだと思いました。

今日はありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

9/16

名前は裏面に記入してください

特別授業を受講して私は「はだしのゲン」を読んだことがあったので原爆についてだいたいは知っていたが、池田さんのお父さんの手記は現実味があって聴いていて怖いと感じる表現がいくつもありました。また、原子爆弾投下候補になった都市に横浜があったことはとても驚いたし、こんなことを思ってはいけないけれど「横浜に投下されなくてよかった」と池田さんの話を聴いたこともあり、思ってしまいました。さらに、候補地の中で京都を推していた理由として、原子爆弾を投下したときの効果のデータが上手くとれるからというのは、アメリカが原子爆弾投下を核実験の1つとしてしか考えていないことにすごく怖いと思いました。また、原爆の威力についての話の中で実際に人が目の前で一瞬で体内の内臓などの水分が蒸発し、炭化してそれが衝撃波によってとばされることにより、人が消えたように見えるという説明はそんなに一瞬で体内の水分が蒸発するほどの熱さとは一体どのようなものだろうと想像するだけで恐ろしかったです。さらに、原爆の火の玉の表面温度は太陽の表面温度プラス1000℃というのはどんだけ原子爆弾が地球を破壊する力があるのかを感じました。特に、衝撃波が毎秒440mの速さで、音速毎秒340mより速いことと、特別授業の始めあたりの原爆の大きな音が印象に残りました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

3/16

名前は裏面に記入してください

核兵器の被害はものすごいものだということは知っていたが爆心地から何kmの地点でどういう被害がでたなどはくわしくはしらなかったので話を聞けて良かった。アメリカ軍も京都には重要な文化財があるためそこに原爆を落とさなかったのは少しの情けを日本にかけれるくらい優勢だったと思いました。

核兵器はウランを使っていることは知っていましたが、60kgもあったのに1kgしか反応していないと知って、もしも60kg全てが反応していたら日本はどうなっていたか分からないのでそこはきせきだと思いました。日本は世界で1つの被爆国なので北朝鮮などの核開発を進めている国に警告しなければならない立場だと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

特定非営利活動法人原爆先生　http://hiroshima9.com　post@hiroshima9.com

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

今日の話を聞いて原爆について色々しれたと思う。
まず原子爆弾投下都市の条件をはじめて知った。
① 直径5kmを超える
② 平野であること
③ 空襲がなかった
1つ以上の条件が合わないとおとさないこと
他には候補になった都市が6つあること、広島、小倉、長崎、横浜、新潟、京都であるということ、もし横浜に落ちていたらどうなっていたかもそうぞうがつかないし、落ちていたら今の横浜はないかもしれないと思った。
3年生で広島に行くので今日きいたことをいかして原爆ドームなどを見て行きたい。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

3/16

名前は裏面に記入してください

こういった戦争の特定多数を巻き込む、非人道的な行為を助長する戦争は、無意味なものであり、とても悲しいものであることを、小さな時から分かっていたつもりでしたが、改めて大人になってから同じような話を聞いてみると、その言葉の意味が、戦争で使用した兵器のむごさ、それを私達の先祖が受け、またそれを行ったのが私達同類の人間であることに、とてもショックを受け、そして改めて、自分の中で戦争に対するイメージの色を強くしました。

そしてまた、戦争で使用した兵器の製造、および使用は今私達がこうして学んでいる知識から来ているものだと思い、同時に、とても悲しくなり、人を殺める事にその知識を使いたくないと強く思いました。

原爆先生のお話を聞き、戦争という行いの先に何があるかおしえて頂き、その結果に得が無いという事、戦勝国にとっても、後の時代でのもめ事の原因になるなど、争いが争いを生んでしまっている、または生んでしまうかもしれない現状に、僕達には何ができるか考えて、先人の行いを無駄にせず、例え平和が作れないとしても、誰かが悲しむことが無いようにしたいと心の中でそう思いました。

本日はありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

3/16

私の部活では、年に一度「平和のための戦争展」という展がひらかれます。私達はそこで、戦争についての朗読劇が行われます。沢山の表し方が書かれているがですが、今回の受講を通し、今私達が知らないことや言葉が多く、とても勉強になりました。

このお話を忘れずに他の人にも伝えていきたいです。

本日は本当にありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の話を聞いて思ったことは原爆はとてもこわいということです。今回の話を聞くまでは原爆の話を聞いたことなく、こんなにおそろしいものだと思っていませんでした。3000℃～4000℃の熱はぼくには想像がつきませんが、苦しみもなく死んでしまうのはとてもこわいです。原爆で広島市の人口の約40%の人がなくなったときいてとてもかなしい気持ちになりました。なくならなかった人もこういしょうがのこってしまったりしてかわいそうだなとおもいました。今回の話をわすれずに三年生の修学旅行でしく広島でいろいろなことを学びたいとおもいます。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆がこわいなとしか考えがえていなかったけど、原爆をくわしく知るとウランを60kg用意して、1kgしか起動しなかったのは、まだ良かったと思う。もしも60kgのウランが起動したら、広島県はどうなるか想像がつかないことだと思う。B29爆撃機エノラ・ゲイのエノラ・ゲイは、お母さんの名前ということを知ることができた。

原子爆弾投下都市の条件は、

①直径5kmを超える　②平野である

③空襲がなかった　以上の条件だそうです。

この条件に合っているのは、「京都」です。

京都は第一候補だったけど、文化財が残っていることから、候補からはずれたそうです。

原爆のおそろしさは、3つあります。

①熱線　この熱線であびた人は、大ヤケドになります。②衝撃波　この衝撃波で建物はふきとび、平野になってしまったそうです。

③放射線　この放射線によって戦争が終わった後も、なぞの病として、大変だったそうだ。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、今回の原爆先生の話を聞いて頭で、想像ができませんでした。それほどリアルで「私」と言うお父さんの体験をリアルにそして、私達につなげてくれました。とても"楽しい"と言う気持ちにはなれなかったし、だからと言って"つまらない"とは思いませんでした。原爆を甘く考えていた事、それが本当に申し訳なく思え、それでも私たちに伝える為に探したくもないような言葉を探した事、そして適接な言葉にも値しないような、代しょうがあると言う事を知れました。少しだけ難かしい話しではあったとは思うけど、分かりやすく伝えていただいた事に感謝しています。原爆資料館を訪ずれた時に、「キレイすぎる」と言う言葉を語ったお父さんの、言葉が印象的です。それほどにお父さんが見た本物の世界が、残刻と絶望に満ちた物だったと言う事を、1言で知れました。とてもとても怖い話だったけれど、知れていい経験になりました。この話を一生忘れないように、後世の人々にも、ひさんな思いをしたお父さんの体験をつないで、世界を変えられるように、ひばく者のぎせいを無だにしない、思いを受け継げるように、していきたいと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆が爆発すると、7000℃になるので、太陽が接近してきたのと変わらないと言っていたことにびっくりしました。原爆が爆発して、爆心地直下が3000℃～4000℃になったことだけでも大変なことなのに音速よりも速い毎秒440mの速さの衝撃波があったと聞いたので、特別授業を受講する前に考えていた原爆をおそろしいものだなと感じました。原爆弾投下都市の候補に横浜と新潟と京都が入っていたことが知らなかったので知れてよかったなと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾の投下に条件があることを初めて知った。候補になった都市の土地にそれぞれ特ちょうがあって、ここに落としたらどれくらいの衝撃が起こるのかなど、細かいことまで考えていたということも初めて知った。原爆によってやけどをした人を助けようとして、手をとったら皮ふがただれていて、ズルリとはがれたという事を聞いて、ぞっとしたし力がそうしつになった。また、傷口にウジムシがいたというのも、正直聞いていて気持ち悪くなった。川の水がほとんど無くなっていたという事や、3000℃もあったことから、ものすごくあつかったことがよく分かった。原爆の衝撃波の速さは毎秒440mで、音速よりも速く、あっという間の出来事だったということも感じられた。その中でも一番驚いたのは、ウラン1kgだけで広島という街が破壊されたということだ。本当はリトルボーイ（原爆）の中には60kgのウランが入っていて、そのうちのたった1kgだけで街が破壊したということは、60kgのウランが使われていたら、どれほどの衝撃だったのかと、考えるだけでおそろしくなった。今現在、世界でこの何倍もの破壊力をもった原爆が1万以上あると知り、それが全部爆発したら、地球はあとかたもなく無くなってしまうだろうと思った。これから、また、世界で原爆がどこかで落とされてしまうかもしれないと思ったら、今がどれだけ大切かを実感した。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾がどのくらいのものかを、数値をつかってわかりやすく知れて、3000℃をこえる温度、毎秒440mの衝撃波、そのすごさを知ることができた。

温度は、爆発の中心部は100万℃もあり、外側の温度は、太陽の表面温度よりも高い7000℃もあって、その温度の高さにとてもおどろいた。

衝撃波は、毎秒440mの速さにおどろきました。音速の毎秒340mをこえる速で、衝撃の後に音がくるということにとてもおどろいた。

1つずつでも十分に恐しいのにこの2つに加え放射線もあり、3つがあわさった原子爆弾は、どのような威力か想像もできないくらいです。その原子爆弾が日本に2回も落ちたことにあらためて恐さをしりました。

（かも リトルボーイの大きさが、全長3.12メートル重さ4トンもあるものを広島に落とされてとても大変だったと思いました。

このようなことを忘れずにこれからも多くの人々がこのことを知って原子爆弾をこの世からなくせればいいと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

今日，原爆先生の話を聞いて，私は実際に日本であった事とは思えませんでした。物語の中のようなお話で，どれも信じられないものばかりでした。強い勢力の原爆が，ものすごく近い上空で爆発して，建物は次々に崩壊，人も水分が蒸発し，消えるように焼け死んでいく，そんな状景は思い浮かべるだけで恐く，辛いものだと思います。原爆でお亡くなりになった人はたくさんいる。原爆の影響を受け，今でも後遺症で苦しむ方々もいる，そう思うと，原爆の投下は，今後，あってはいけないことだと思いました。そのために私達が出来ることは，この悲惨な出来事を後世に語り継いでいくことです。今日の話，広島，長崎への原爆投下という事実は一生忘れずに生きていきます。今まで，戦争や原爆に関する話を聞く機会は何度もあったものの，身近に感じることはできずにいました。しかし，今回の話は，実際にその光景が目に浮かび，寒気がするくらい身近に感じました。だから私はきっと，来年の修学旅行で広島を訪れる際，真っ先に今日の話を思い出すことができると思います。今日は，貴重なお話を聞かせていただき，ありがとうございました。詳しい原爆の話を知った1人として，私はこれから語り継ぐ身となります。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

3/16

名前は裏面に記入してください

本日は、ありがとうございました。
先生がお話ししてくれた内容は、今までにも聞いたことのあるような感じがします。でも、今回のお話しはとても具体的で、まるで自分が体験したのかというほどの恐怖を感じました。特に、爆発音が印象に残っています。キーンと耳の奥でこだます音はものすごく恐くて、2回目に音が流れたときは、風の音を聞くだけで爆発音と同じくらいの恐怖を感じました。また、驚（おどろ）いたこともあります。おもな被害のなかった衝撃波のことがあったことです。これについては、はじめて知りました。音速よりもはやく広がり、地面からもはねかえったりして、恐いと思いました。他にも想像できないほどの被害をひきおこした、爆弾を作ったアメリカに対して、怒りがこみあげてきます。そして、今もなお原子爆弾を保有している国々が使用することなく保有をやめてくれることを心から願います。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

1

今回の原爆先生の特別授業を受講して私は資料、6の原子爆弾投下都市の条件の中に横浜が入いっていてとてもおどろきました。それと、リトルボーイを投下したエラノ・ゲイを操縦をしたチベット大佐の話がありましたがなぜチベット大佐の母の名前「エラノ・ゲイ」にしたのかをとても不思議に思いました。あと池田義三氏が原爆ドームの女性の被爆者数の象を見て「キレイすぎる」という一言に私もじっさいはこんなものよりもっとい思なのかと思いました。

あと、リトルボーイに入いっていた60kgのウラニウムのたった1kgが化学反応しただけで大きな町がなくなってしまうと思うととてもおそろしいです。今回の授業を受講して広島に行った時に今回の事を思い出して今後につなげたいです。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島と長崎に原爆があったことは知ってましたが、今日の授業まで、あまりくわしいことを知りませんでした。広島の人たちは原爆が投下される前いつも通りに朝起きて、ごはんを食べたり、会社に出勤したりと平和な時を過ごしていたと思います。そんなとき、「リトルボーイ」というアメリカが作ってしまった殺人兵機が青い空から落ちてきました。突然真上で爆発し、7000℃もの熱いものが落ちて、誰もが驚いたと思います。なぜアメリカの人たちは日本に原爆を投下しようと思ったのでしょうか。実験のために日本で多くの犠牲者をだす必要があったのでしょうか。日本がアメリカに何をしたというのでしょうか。この授業の中で何度もそのような疑問を感じました。池田義三さんの動画を見たとき、途中で泣きそうになってしまいました。今回の授業で、実体験者の話、犠牲者の苦しみ等私にとって、きちょうな体験ができました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾についてあまり興味を持ったことがありませんでした。今回の話を聞いていると、すごく嫌な思いになり、昔の人は今よりずっとくるしかったのでなと思いました。

ドラム管に隠れていたから助かったなどどんなに危険なときにも逃げる道はあるのだと考えることが出来ました。

原子爆弾に種類があることを知りませんでした。「ファットマン」や「リトルボーイ」も見た目も大きさも恐ろしく、それが上から飛んでくると考えると、昔の人はよくたえたなと思いました。

昔の人ががんばってくれていたから、今は平和だし、日本の技術が発達しているので、そのおかげだと思いました。

小さいことでくじけたり、嫌になってしまったら、池田さんの話を思い出して、前を向きたいと思いました。

「死にたい」とか言っている人には考えなおしてもらいたい。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

本日は、とても貴重なお話を聞かせて下さり、ありがとうございました。

中でも、特に、長崎へ落す前の、小倉で、B29の人が、3回も、狙いを外すなんて、何回も、練習をしていたのに、45分もかかるなんて、とても、きん張していたということが分かり、それと同時に、長崎では、なぜ、決めることができたのかも、疑問に思いました。

来年の6月上旬に、修学旅行で、広島に行くので、その時、資料館で、今日のことを思い出しながら、糸田部まで、見学したいと思いました。

本日は、本当に貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。この話を、後世へと伝えていきたいです。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

まず、このような機会を用意してくださったことに感謝しています。

自分にとっての、「戦争」「被爆」というのは自分からかけはなれたもののように思えてしまっていました。しかし、今回実際にこの日本で起きた悲劇が自分とまったく関係がないと思ってはいけないと思いました。

やけどによってひふがたれ下がり、しろうがたれる。助けを求める人に手をさしのべるが、皮ふがずるっとはがれてしまい、苦痛で悲鳴をあげる人もいる。そのぞーっとする感覚が今も思い出される。とありましたが、聞いているだけの自分も、さむくなるような、「恐怖」を感じました。道路の向こう側から歩いてくる人は、人であって人の姿をしていなかった。このような想像を絶する「地獄」のような状況が信じられませんが、実際にこんなひどいことがあったことを自分達は忘れてはいけないと思いました。

原子爆弾の投下候補に横浜が含まれているのもこれまで知りませんでした。たった1kg、大きさにして手のひらの大きさもないウランの核分裂で、地上では約3000°C、人の水分が消え、炭化する。もし60kgすべて核分裂していたらどんな規模になっていたか…。今現在、広島の1000倍もの威力をもつ原子爆弾を世界の多くの国が保有しており、合計1万5000発もあると考えると、この被爆の被害をもっと知るべきだと思いました。この学校にも話をきいて、深く心にささり、考えた人も多いと思います。これからも、話が語られることと二度と同じようなことがおこらないことを心から願っています。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

1

今日原爆の話を聞いて原子爆弾というものは、とても危なくておそろしいものだと思いました。

今まで原子爆弾という名前はたくさん聞いていたけど、実際にどんなものなのかを知らなかったので、今日知って、とても勉強になり、とてもおどろきました。

特に爆弾の温度と爆弾の影響におどろきました。

爆弾の温度は「リトルボーイ」という名前の原爆が、球体の中心は100万℃表面が7000℃まで高くなることです。

太陽の表面の温度は6000℃なので太陽よりも1000℃も高い球体が上空600mにあるのは、そうぞうもできないほど熱くなると思うのでとてもこわくなりました。

爆弾の影響については、広島にいた人に3000℃の熱線と毎秒440mの衝撃波がおそうことです。

熱線でいっしゅんにしてすみのかたまりになって衝撃波でくだかれてしまうと聞いて考えただけでとてもこわくなりました。さらに衝撃波は音速をこえているのできてから音がするからにげられたらとてもこわいと思いました。

僕は今日聞いた話を忘れずに、後世につたえたり、やくだてたりしていこうと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この授業をうけて、「リトルボーイ」の大きさや熱に驚きました。まず、大きさでは、3.12メートルで約4tもあるものが空から降ってくると考えると怖さを感じました。次に、熱では、あの太陽の表面の熱よりも1000℃も高いものが降ってくると考えると、人間の残こく白々な死を感じました。また、池田義三さんの話から想像できる肋脂や筋肉が見えていたという残こくな人間の姿を恐ろしく感じたり、もし自分が兵隊でそんな姿で「助けて…」と言われたらと考えたりなど原爆の恐ろしさが改めて分かりました。他にも、原爆を落とす都市の候補になっていたここ横浜に原爆が落ちていたらと考えると、鳥肌がたちました。これらを後世に伝えてゆき、「2度と起こしてはいけない」という考えを改めて大切だと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の授業を受けて原子爆弾について詳しく知ることができました。私は戦争のことについてよく知らなかったので、戦争の大変さなど今回の授業で学ぶことが多かったです。私が1番驚いたことは、5人に2人が原子爆弾で亡くなったことです。5人に2人亡くなることはすごく多くの人が亡くなっているということなので驚きました。あと、問題をだしてもらったりして原子爆弾についてわかりました。最初にプリントを配られて資料をみたときに「1kg」とはどんなことかと思っていたのですが、ウランのことだというのも知りました。私達は3年生になったら修学旅行で広島に行きます。そのときは今回の授業のことをいかして原爆ドームの資料館をみてきたいと思います。今回の授業でさらに原子爆弾について知りたいと思いました。家に帰ったら原子爆弾についてたくさん調べたいと思います。今回は貴重な体験ができてよかったです。ありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

僕はこれまでの原爆の授業を通して一番強く心に残りました。今までは実際に体験された方のお話しを聞いていましたが、言葉だけで想像し考え聞かなくてはいけませんでした。ですが、原爆先生の授業では先に資料を配られており、アメリカ軍がなぜ広島や長崎に原子爆弾を落したのかを一つ一つ教えてくれました。中でも原爆弾を投下する条件があると聞いた時びっくりしました。僕自身が広島の小学校で学んだ時は平野であり軍事物資が多かった事から投下したと教えていましたが今回の授業で必要だったうつの条約を知り地図などを比べて見るといっちしていた事がわかり納得することができました。また、池田義三さんの証言を聞いて兵隊だったから体験できた事やその兵隊の任務を行なっている時の心情を聞いて強く胸に響きました。とくに原爆が投下された周辺の死体を廃棄する時人ではない姿の人々を持ち運ぶという作業がどんなに辛いことだったのかは想像もつかないのですが、池田さんの語る様子を見ているしかったことが伝わってきました。今日の授業を受講して原爆の恐しさを知ることができました。また、この授業で学んだことをいかし、今の僕が未来の恐しさや怖さを現実の人々に伝えていけるようにこの授業を忘れることなく伝えていきたいなと思っています。このたびは貴重な体験を有がとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

貴重な話をきかせていただき、ありがとうございました。
戦争学習は今までたくさんしてきたので、お話をきく前は、知っている話が多いだろうと思いました。しかし、池田さんのお話は、今までの学習の中でももっとも衝撃が強く、強烈な印象を残すものでした。
その中でも、私たちが住んでいる横浜にも、原爆が投下される可能性があったときいてとてもおどろきました。もしそうなっていたとしたら、今とは全く様子が異なっていたのだろうと思います。また、原爆の威力についてのお話では、7000℃という数字をきいてもあまりイメージが湧かなかったのですが、太陽の表面温度よりも温度が高いときき、急にはっきりとその温度が意識されました。その他にも、的確な例えや間のとり方によって、頭の中にありありとその光景が浮かんでくるようでした。
さらに、写真や動画、死亡率などを見るうちに、戦争の悲惨さがわかりました。そして、戦争が決してくり返されてはいけないとわかり、次は私たちが後の世代に伝えていきたいと思います。来年の修学旅行で広島に行くときには、今日のお話を心に置いていたいです。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

私は、今回の原爆先生のお話を聞いて、私が生まれる前に、あのような驚くことがあったと思うと、本当にびっくりしました。

私が一番驚いたのは、やけどをしてしまった人達が川へ飛び込んでいた時に、ゆでだこ状態になってしまったということです。私は、普段、お湯をわかす時に全然お湯にならなくて、いらいらします。ですが、そんなイライラしてる時間もないくらい一瞬で熱湯になってしまったことを考えると原爆の苦しさ、辛さ、大変さ、が私の想像以上に大変だと思いました。

人工のものが、6000℃の太陽を上回ることがあの時代にあったと思うと本当に驚きです。

今回聞いたお話を忘れずに、来年度の修学旅行で、もっと詳しく知れるといいです。そして、犠牲者の方々のためにも、これを次につなげていきたいです。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

今日は原爆についてのお話を聞いてまず自分でもしらなかった事をいろいろとしり昔はそういう事があったんだなと思いとても勉強になりました。まず広島市人口が35万人なのに死亡率が40%もなんてとてもびっくりしました。

1回目の動画では広島に投下された原爆「リトルボーイ」が投下するしゅんかんを見た時はまさかあんなにひがいをうけるとは思ってもいませんでした。2回目の動画では、池田義三さんのとてもきちょうなお話を聞けてとてもよかったと思っています。

もし私がじっさい原爆の場所にいたらとてもたいられないなと思いました。私は今度しゅうがくりょこうの時に広島に行きます。その時に今日話を聞いた事と思いだして、広島はこんなことがあったんだなと思いだしてみたいと思います。

今日はとてもきちょうなお話を聞かせていただいてありがとうございました。この話はぜったいに忘れてはならない事だと、とても強く思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで見てきた講演とは少しやり方が違う、聞き手に興味をひかせる講演でとても話に入りこみやすかったです。特に「リトルボーイ」の表面温度は7000℃にもなり、中心の温度は100万℃という信じられない程のあつさで、太陽の表面温度6000℃を上回ると聞いた時にはおどろきをかくせずに思わず「エッ」という声をしてしまいました。また、候補になった都市の1つに、今自分たちがいる横浜も入っていることにきょうふをいだいてしまいました。

今北朝鮮のミサイル問題でいつ日本にうちこまれるかわからない中、昔は候補から外れたものの、今は入っているというわさを聞きました東京にうちこまれても、現在の核爆発のいりょくは、昔の1000倍も強いという話から、助かってもおきたわや、北海道の上部のみでまず横浜は放射線にさらされるという話もあることから、この話を通して色々な知識や体験談などからうかんだ人からの準備が必要だなと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は今回の原爆先生の特別授業を通して改めて原爆は危ない、怖いなどと思いました。

本当に原子爆弾が落ちた所はどんな思いでいたのかも分かりませんですけど、今僕たちが住んで生きている神奈川県横浜市も候補になったと書いてあるし、聞いた時はおどろきました。でも、候補でとても怖かったです。後この横浜の地形が判断のもとに全部あてはまらなく、よかったです。

そして、ラジオゾンデという機械にはじめてふれました。理由は、原子爆弾が落ちるのに付けられ時速30kmにもたえ、計測をする所におどろきました。いろいろとすごい機械だとも思いました。

そしてもう一つ、広島市人口は35万人もいるのに不慮爆者数は24万人で死者数は14万人です。この死亡率は40%でその中の2万人は一日経で死んでしまったそうです。

だから、二度と原爆などがおきてほしくなと思いました。

日経

日経

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆に関して無関心で何も知りませんでした。なので原爆ドームが何なのかも知らなかったのですが、話を聞きコンクリートがとけて丸いドームのようなので残って出来たのが、原爆ドームだと知れたので来年、修学旅行で原爆ドームを訪れる時にはコンクリートがとけているところなど、原爆の強さ、ウラン1kgの破壊力を目に焼きつけ、原爆の事をしっかりしめておきたいです。また、原爆では、たくさんの人が亡くなっているそうで、その数くの人が誰かに助けを求めるが、助けてもらえず、もがき苦しみながら、亡くなった人の気持ちは、すごく苦しいのは分かりました。見過した人の気持ちも苦しいのだと思います。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

本日(3/15)は、大変貴重なお話をして頂き、本当にありがとうございました。忘れてはいけない、原爆のこわさや悲しさ、。池田義三さんがぼそっと言った〝きれいすぎる〟という言葉に想像もできない怖さが込み上げて来ました。原子爆弾が投下された時の人々の姿、爆弾の温度やそれによって亡くなった人々のその時の状況や助けを求める人の姿…ビデオや話を聴いて、目をそむけたり、目をふさぎたくなりました。でも、実際にその辛さを経験して、それを次の世代へ伝えようとしている人がいる、そう思うと、今の私の生活は本当に甘く、辛さを経験した人がいるから今の私達がいる、そう思います。だから、今回の話を忘れずに、胸にきざみ、次の世代へ伝えていこうと思います。私情ではありますが、私の祖父も、19歳の頃に池田義三さんと同じ経験をしました。私は、池田眞徳さんのように、祖父に原爆の話を聴いたことはありません。今、思うと、池田眞徳さんのように、怖さに負けず、聴いておけば良かったな、と思いました。だから今回の話は、被爆者や、原爆を経験した人だけでなく、祖父の辛さを知ったことになります。

私は来年広島へ行きます。その時は、原爆先生の話を思い出して、原爆を経験した全ての方に合しょうしたいと思います。

最後になりますが、本日は本当にありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は、貴重なお話ありがとうございました。

私も小学生の時に、家族と旅行で広島の原爆ドーム（広島県産業奨励館）や慰霊碑を訪れたことがあります。中でも原爆の資料館が1番印象に残っています。たくさんの展示物があって、どれも原爆の恐しさを伝えていました。しかし、先生のお父様は被爆した女性の人形を見て「きれいすぎる。」とおっしゃっていたと言うことを聞いて、びっくりしてしまいました。これだけでも充分私にとっては目をそむけてしまうそうなのに、これよりももっとひどいのだと思うと、何とも言えない悲しみや原爆の威力を思い知りました。

原爆投下という行動でたくさんの尊い命が失われました。このようなことは二度とくり返してはいけないと思います。私たちは、もちろん原爆の恐しさを体験してはいません。しかし、語り継ぐことはできます。そして今では、日本にとどまらず世界でも核を排止しようとたくさんの取組が行われています。これは、大きな進歩だと思います。まだまだ核を保有している国は多いですが、これから少しでも減っていけば良いなと思います。とは言っても思うだけでは始めですよね。やはり減らすには、知ってもらうことが1番大事だと思います。私も、もう一度平和について考え、同じようなことを二度とくり返さないよう、唯一の被爆国である日本の国民としての正しい行動をしていきます。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

最初にお父さん「池田義三さん」の視点で話してあり、とてもわかりやすかったです。内容は池田義三さんが体験した原爆が落ちてから9日間のお話でした。原爆のことは知っていたけれど、今回のようにしっかりと原爆のお話を聞くことができたのはいい体験でした。今年の6月には修学旅行で広島に行くので今回原爆のお話を聞けたことをいかして、修学旅行に行こうと思いました。

原子爆弾が炸裂したときの表面の温度は7000℃にもなり、中は100万℃にまでになるということは大変おどろきました。この、表面温度7000℃というのは太陽の表面温度より1000℃も高いそうです。ここからくる、熱線と衝撃波と放射線をくらってしまうからと教えると本当におそろしいなと思います。

二度とこんなことがおきないように世界にまるようにしていかなければいけないなと深くそう思いました。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特別授業を受講してみて、原子爆弾の恐ろしさを知ることができました。今までは、あまり原子爆弾に関心がなく知らなかった。だけれど、今回受講してみて、原子爆弾の恐ろしさを後世に伝えるためにも、詳しく知るべきなのではないかと思いました。私が特に興味を持ったのは、原子爆弾の温度が7000℃なのに対して、太陽の温度が6000℃だということです。太陽よりも温度の高いものが、約東京スカイツリーの高さにあると知り、原子爆弾の恐ろしさは自分の想像していたもの以上だということが分かりました。被爆者を助けようと手をさしのべても、皮膚が落ちてしまい逆に被爆者を痛めつけてしまうということもあると知り、被爆者にはよかれと思ってやったことも逆効果になってしまうので対応に気をつけなければいけないんだと思いました。また、以前は、原子爆弾から人間は逃げることができるのではないかと思っていたけれど、原子爆弾の衝撃波の方が音の速さよりもはるかに速いということが今回分かり、原子爆弾の恐ろしさを私は甘くみていたなと思いました。今後、今回のような特別授業を受けることはないと思うので、今回のことを忘れないようにするのはもちろん自分でも関心を持って調べ、身につけた知識を後世に伝えられればと思いました。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

今まで平和についてなどは考えたことなどなかったが、今回の特別授業を受けあらためて平和について考えないといけないと思いました。原爆の強さや怖さについて知れた。爆発の衝撃波の速さが音よりも速いことにおどろいた。また爆発の中心部では100万℃というありえないような熱さで600m離れていても鋼を溶かすまでの熱量で人があぶると一瞬で炭化して衝撃波でふっとぶということがおそろしいと思いました。さらに原爆の中のウラン60kgのうち1kgだけが爆発しただけで広島の全体をはかいする威力あり、60kg全てがかく分れつしたら想像のできないようなことがおきていたにちがいないと思います。

今の時代では戦争も少なく原爆を使うこともないのでこのまま平和な日々がつづけばいいと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

私が原爆のことで知っていたのは、原子爆弾を落とす候補になった都市の中に横浜や京都が入っていたことです。では、どうして日本にとってとても必要な京都を選ばなかったのかと不思議に思っていました。話しを聞いて、人間にとって重要な文化が多くあるということから、という理由で長崎などに変換していった人だと知ることができて良かったです。前半で一番衝撃的だったのは、少しさわっただけで皮がむけてしまったり、全体がやけどでこげてしまっている人を想像するだけでとても悲しい気持ちになりました。また、多くの人が被害にあったせいで、助かる人も助からなかったりしたんだと思うと、原爆を落とした人達がゆるせません。後半では、原爆について詳しく知ることができました。特に、太陽よりも熱く、人が消えたように見えるほどなのに、実際に使われたのは、ウラン60kgに対して1kgしか原子爆弾のもととなるものが使われていないのはとても衝撃的でした。

今回、知ったことを忘れることのないようにしたいです。また、大人になったら、子供達に教えたりして、みんなが原爆のおそろしさを知ることでもう二度とこんなことが起こらないようにできたらいいと思いました。1人1人の命を大切にしていきたいと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆での被爆者の状態に驚きました。皮膚がズルズルとはがれ落ちるという表現は想像するだけで気味悪く、同時に、原爆の熱線のいりょくの高さを感じる事ができました。人間が蒸発するほどの熱さ、3000℃を身体にあびるというのを聞き、正直想像もつきませんでした。なによりも1番印象に残ったのが、「ゆでだこ」と化した人々です。水の入った箱の中から出てきた死体も川に飛びこんだ人々の死体も体は真っ赤になり、ふっとうした水によって「ゆでだこ」ど化したという話は、本当に悲惨さが伝わってきました。この広島原爆ではウランはたった1kgしか熱焼しなかったと聞きました。本来の量である60kgが爆発したら、被害は何十倍もの範囲におよび、熱も衝撃波もすさまじいものとなる思いました。そんな核兵器を多国が保有し、世界に1万5000発あるというのを知りとても驚きました。これはあってはならないことです。この先、核の無い世界となることを私は強く望んでいます。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

今日の特別授業を受講して、私は改めて戦争への恐怖を感じました。そして当時のことを知っている方は少なくなってきているのでお話をしていただき、大変勉強になりました。

8月6日のお話で、「兵隊さん…助けて…。」と助けを求めた方。腕をひっぱってあげようとしたが、皮膚がただれてしまい、ひっぱれなかったお話を聞いてとても胸が痛くなり、悲しくなりました。そして9日目での弟とお姉ちゃんに出会って助けた数十年後のお手紙の返事に感動しました。

そして私が印象に残ったのは最後の映象で、池田義三さんが泣きながら当時の事を語っていたことです。記憶にずっと残っていて決して忘れられない出来事なんだなぁと感じました。

私は、3年生になったら、修学旅行で広島に行きます。そしてその時、原爆ドームなどに行きます。その時には、遺品や当時の事が沢山書いてあったり展示されたりしていると思います。私はそれをしっかりとこの目で見て後世に継いでいこうと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

僕は今回原爆先生の話を聞き、改めて核兵器の恐しさを感じました。叫ぶ間もなくとてつもない高温と衝撃がせまってくる、そんな情景を思うととてもぞっとします。実際、講演会では思わず身震いしてしまいました。小学生のときも何回か原爆についてのお話を聞いたことがあったのですが、あまり原爆のことに感心を持つことができませんでした。しかし中学生になり、身体的にも精神的にも成長したことで原爆のことを深く考えることができるようになりました。中学2年生という時期にお話を聞けたことで人間的にも成長できるような気がします。勝手ですが、僕は原爆で一番恐ろしいのは放射線だと思っていました。なぜなら熱線や衝撃波は物の後ろや建物の中にいれば安全だが、放射線はコンクリートや鉛も突き抜けてくるから危険だと思っていたからです。しかし今回の話を聞き、自分がいかに間違っていたかを知りました。言われてみればその通りで、自分の真上で爆発すれば物に隠れていても意味がないし、7000℃もの高温が上空にあるなら建物もとけてなくなってしまう。運よく生き残ったとしても衝撃波で強く頭を打ちつけたりしてしまえば死んでしまうため、熱線・衝撃波・放射線の全てが同じくらい恐ろしいのだということを今回の講演で学びました。恐ろしい「原爆の記憶」を語りついでいくことの大切さを今日、身近に感じることができました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

最初の本人視点の時はとても臨場感があり実際の空襲の威力を実感しました。被爆者の症状や見た目など話を聞くだけでも悲しさやはかなさ生々しさを感じました。また原爆といっても細かくは知らずに広島に原子爆弾が落ちたくらいしか知りませんでした。しかしその中には広島の人々の感情や町の壊れてしまった建物など70年以上たった今でも原爆ドームなどを見るとわかるような気がします。

僕達は若いです。若い事は良いと言われますが生まれた時から戦争が無くほぼほぼ平和な暮らししかしてきていないので平和に暮らせる事の喜びを知らずに生きていないんだと思います。

なので今回の池田先生のようなお話を聞き生きることへの喜びを感じながら後世にも伝えられるようになりたいと思います。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

1

今回この原爆先生の特別授業を受講してみて、おどろくことがとても多かったです。
まず、おどろいたことは原爆の大きさです。長さが約3m、重さが約4tもあるものが爆発したということにおどろきました。また、そんなに重い原爆が爆撃機から離れても約4kmもとんだということにもおどろきました。
それに、原爆の熱線などで建物は骨組みだけになり、人は全身がやけどになりひふがただれ、赤い肉が見えるというほどにひさんな被害を受けたということにおどろきました。
それど、このようなひさんな被害を受けた広島も70年ほどたったいまは、ほとんど原爆のひがいを受けたことがわからないほどにふっこうしていておどろきました。
授業では大事なことを知ることができよかったです。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

今日の特別授業を通して、やはり広島県で起った原爆はすごいおそろしいなと思った。

その怖さは、太陽と同じくらいの温度の円形の物が広島県の上空にあり、その温度が少なさがった3000℃が少にあらわれて、多い一体を、焼きつくしてしまうのだから怖いと思った。その温度は、人の中にある水分をすべて蒸発してしまうのだから、すごく熱いんだと思った。

そして、死亡している人を集めて、焼くという作業はすごく大変であり、自分だったら絶対にできない作業だと思った。

これ以外にも落す所に横浜もはいっていたのが驚きだった。自分の住んでいた所に落ちてきたと思うと背筋が凍りそうだと思った。

この授業を通して、改めて平和について、見つ目なおさないとだと思った。原爆によって亡くなった人の思い、その地にいる人の思い、そして、平和とはどのような事か、本当に考えないといけないと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

僕が原爆生の話を聞いて一番おどろいたのが、原爆投下候補になった都市に横浜がえらばれていたことです。もし横浜に投下されていたらと考えるととても身近な物だとかんじました。

二番目におどろいたのは原爆が太陽よりも1000℃高い7000℃もあるということです。実際に7000℃がどのくらいの温度かわからないけれど人をしゅんで蒸発してしまう温度と聞いてとてもおそろしい物だとわかりました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の原爆先生の話を聞き原爆が身近に感じることができました。

今までは広島に原爆が落とされたという事じつだけは知っていましたが、そう詳しくは知りませんでした。しかし今日の話をとても丁寧に話していただいたためその時の状きょうがとても想像しやすかったです。また2回目のゴゴ…という音は次は長崎だと知っていてもきんちょうしました。

2つ疑問に思ったことがあります。

1つ目はなぜ2回も原爆を落としたのか。

2つ目はなぜ空襲が無い町に落とさなければいけなかったかどうか。という2つです。

その2つを頭に入れて修学旅行に行って来たいと思います。しかしその時に行く原爆資料館へ行くのがすこし怖くなったような気がします。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は講話に来てくださりありがとうございました。先生のお話をお聞きして、原爆の怖さを改めて感じました。また、爆発したときの熱が太陽よりも1000℃高いと聞いてびっくりしました。そして、原爆を落とす場所の候補に横浜が入っていたと知りとてもおどろきました。また、京都も候補に入っていてアメリカが文化財が多く、寺社が多いために候補からはずしたと知って、おどろきました。

そして、広島に投下された「リトルボーイ」は3.12メートルもあって4トンもの重さがあるものが空を飛んでいることを想像すると、とても恐怖を感じます。原爆には熱線、衝撃波、放射線などがありとても恐しさを感じました。今日の先生のお話を聞いて、原爆は二度と使ってはいけないものだと感じました。

また、世界にはまだ1万5000発もの原爆があると知ったので、その原爆を早くこの世界からなくすことを願っています。

そして、私たちは今日学んだことを後世に伝えていきたいです。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

広島市に原爆が落ちて、広島市の人口が35万人で、そのうち被爆者数が24万人、死者数が14万人で多くの人が亡なっていることが分かりました。

原爆の候補になった都市が、主に広島、小倉、長崎で他に横浜、新潟、京都だと分かりました。

広島に「リトルボーイ」が投下されました。「リトルボーイ」は、3.12m 重さ約4tで、9632mの高さから、投下され、約4km先に落下しました。

この「リトルボーイ」は時速300kn以上だということが分かりました。

原爆都市の条件は、①直径5kmを超える ②平野であること ③空襲がなかったの3つで、広島、小倉、長崎は、この条件にあっていました。

私は、原爆の話を聞いて、原爆のおそろしさが分かりました。私は、これ以上、死者数などが多くならないように、戦争や、原爆がおこるきっかけをなくし、二度とおこさないようにしたいです。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

1

僕は、今日原爆先生の特別授業を受講してみて、教科書では学べない体験などの話を聞いて本当の原爆は、予想以上ということがわかりすごくビックリした。

原爆候補になったのが僕は広島と、長崎だけだと思っていたけど他にも、小倉、横浜、新潟、京都などもありおどろきました。原爆の温度もおどろき原爆の中心部が100万℃になってると思ってなく600m下の地上でも3000℃という温度と聞いてもし自分がまきこまれていたらすごくあついんだなと思いました。あと原爆の衝撃波が毎秒440mの速さとしりおどろきました。ウラニウムが1kgのウラニウムがかがくはんのうをおこしてあのはんいをこわすとしりこわくなった。原爆のおもさが約4トンもあり長さが3.12mもありすごくおもいとしった。すごくおどろいた。原爆をすごい高さから(9632m)からおとしていて高いなと思もいました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生のお話を聞いて、原爆の悲惨さをあらためて感じました。私は、被爆者の人たちがやけどをしたり、皮ふがただれたりしたということは知っていたけど、地面や床にしみになることは知らなかったので、おどろきました。また、ゴルフボール1個分と同じくらいの1kgのウランで広島の町全体を焼いたことを初めて知り、びっくりしました。原子爆弾が地上600mにあるということは、太陽が地上600mにあるよりも熱いと聞いて、7000℃もあるものがすぐ上にあるなんて想像できないけれど、とても熱かったのだと思いました。爆心地では、影ができないことを初めて知りました。原子爆弾では、5人に2人が亡くなったと聞き、亡くなった方などがたくさんいて、原子爆弾はとても怖いものだと思いました。私は、来年に行く、広島の資料館でもっと原爆について知りたいと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を受講して、私は原爆について、小学校から学んでいるし、知っている気でいたけれど、今まで知っていたのは表向きだけで実際は知らない事だらけだったんだと、自分のおろかさを感じ、知ったかぶりをしていた自分を恥ずかしく思いました。今日講演会で私は、最初、「ひふが剥がれた」「ただれた」などの言葉を聞いた時、「なんでそんな言葉を使うのだろう。なぜ何回も恐ろしい人々の様子を語るのだろう。怖いからあまり言わないでほしい。」というように感じてしまいました。けれど講演が終わった後には、「人々のうめき声や様子など、当時の事をありのままに話してくださって、何回も強く話してくださったからこそ、私達はその悲惨さが想像できたんだろう。鮮明に話して下さってよかった。」という気持ちに変わり、聞いた時のような感情は全く出てきませんでした。これはきっと、原爆について当時の様々など、一から色々な事を学ぶことで、起きてしまった原爆の事実から、自分が逃げずに、悲惨な事実を受け入れられるようになったからだと思います。また、今回の講演で私が一番印象に残っているのは、最後の映像に出てきた池田義三さんの姿です。言葉や形にして原爆の様子を伝えたいけれど、上手く伝えられず涙する池田さんの姿から、原爆を経験した人にしか分からない何かがあるんだろうと思いました。私には被爆した人のように原爆の全てを知る事はできないけれど、修学旅行などを通して原爆についての理解を深め、平和について自分ができる事を考えていきたいです。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の講演を聞いて、自分が思っていたよりもはるかに被害が大きいことを知って驚いた。被爆した人たちの状態を説明してくれたけど想像すらも出来なかった。

リトルボーイには60kgのウランが積まれていて、その中の1kg、たったゴルフボールくらいの大きさのウランが核分裂しただけで、表面温度が7000度にもなり、太陽の表面温度よりも高いものを人間が作れてしまうことに驚いた。さらに現在ではさらにそれの1000倍の威力の爆弾が作れてしまうことを聞いて更に驚いた。リトルボーイでこの被害の大きさだから、その1000倍の爆弾を日本が受けてしまったことを考えるとぞっとした。池田義三さんが広島平和記念資料館に行って、被爆者を模した人形を見て、言っていたことから、人間が再現できないくらいに悲惨な姿で人間離れした姿になってしまったのが痛々しいくらいに伝わってきた。最後の池田さんのムービーを見て、トラックに乗ろうとする被爆者に手を貸したのに皮ふが取れて転げ落ちて、どうしようもなく助けようのない状況がとてもつらかっただろうなと思った。

こんな被害があったと知って、修学旅行で広島で、今日習ったことを思い出しながら見学したいと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、広島の原爆によって、死んでしまった人は、火傷によるものだということは、知っていたけれど、熱いといっても、200℃、300℃ぐらいだろうと思っていたので、「リトルボーイ」が7000℃で、被爆した人達は、3000℃の熱をあびていたと聞いて、とても驚いた。また、川の水が、沸とうして、すぐになくなってしまうぐらいだということを聞いて、驚いた。

沖田さんが原爆が投下された時の再現をした時、「ぶーん」「ぶーん」、という音のあとに、大きい音がして、とてもびっくりしたし、怖かった。2回目の「ぶーん」「ぶーん」という音が聞こえた時には、耳を防ぎたくなるぐらい怖かった。だから、実際にその場で原爆を待っていた沖田義三さんは、もっと怖かったのだろうなと思った。

原爆投下都市にも、いくつか条件があることを知った。また、京都を選ばなかった理由は、歴史的建造物があるからだということがわかった。

今回学んだことを頭にいれて、来年の修学旅行に取り組もうと思った。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

3/16

私はこの講演を聞いて改めて原子爆弾の残酷さと悲惨さを感じました。私は歴史が好きなのである程度は知っていると思っていましたが、今回の講演で自分はまだ何も知らないに等しいくらい自分の知識が薄いということに気づきました。

特に、一番印象に残ったのが原子爆弾の爆心地の近くにいた人々が影だけ残ってあとはすべて消えたことです。そこで初めて原子爆弾の威力を理解しました。たった1kgのウランで広島県を焼きつくしたことにもう二度とこんなものを放ってはいけないと強く思いました。それが原子爆弾に60kgもつんでいることに私は想像を絶する恐怖が今、この世にはあるということにおどろきを感じました。今回の講演会を通して実際に被爆している人から聞いたことを後世に私達がかたり継げることが大事だということが今後核なき世界へと変わるものだと思っています。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて原爆の生々しさがすごく伝わってきて細かく説明されると本当に現実で起きたのかと、疑問に思ってしまうほど信じられず、ビックリしました。自分がもしあんな状況に居たら皮ふがただれ落ちて苦しむよりは一瞬で消える方がまだいいなとかあまりいい事ではなりが考えてしまって原爆の怖さが伝わってきました。原爆ドームが原爆を落とされる前は、広島県産業奨励館という名前だったことを知ってビックリしました。この原爆を落としたアメリカ人チャールズ・スウィニーなどは原爆を落とした時どういう気持ちだったか聞きたいと思いました。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

僕が原爆先生の特別授業を受講して、今までは大都市である広島などに原爆が投下されたということは知っていたけど、今僕が住んでいる横浜が原爆が投下される候補にあがったということをはじめて知りました。また、1番候補としてかされていた、京都が重要文化財がたくさんあるという理由で原爆が投下されなかったということもはじめて知りました。

1リットルボーイのウランの量でかくぶんれつしたのが1kgだけでゴルフボールくらいと言っていて1kgだけで広島市の14万人の人が亡くなってしまって、入っていた60kgすべてのウランがかくぶんれつしたら本当にどうなってしまうのだろうと思い、想象するだけで本当にこわいなあと思いました。原爆が投下された時の地面の温度が3000℃もあり人間の水分がいっしゅんで蒸発するといっていて原爆は本当におそろしいと思い、これをくり返してはいけないし、後世に伝えていかなければいけないと思いました。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

3/16

今回の原爆先生の特別授業を受講して、今までは原爆の被害の大きさや被爆してしまった人の数などくわしい事はあまり知らなかったが、どのぐらいの威力で、どのくらいの人が被爆したのかがよくわかりました。とくに印象に残ったのは広島市民の約70%が被爆して、死亡率が40%ということです。とても多くの人が苦しみ死んでしまったということがよくわかりました。原爆の爆発したときのあつさは太陽のあつさよりもあついということにとても驚きました。600m上に太陽よりあつい物があるということを想像するととても恐ろしいと思いました。今回の講演で改めて原爆の恐ろしさと悲惨さを知ったのでもう二度とこのような戦争を起こしてはいけないと強く感じました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆先生の特別授業を受けて、色々なことを学びました。
僕は、原爆に対する知識は、広島と長崎に投下され、とてもおそろしいもの、ぐらいの知識しかありませんでした。しかし、原爆先生の話を聞いて、投下都市の条件があったことを聞きおどろきました。僕はただ大きい都市に落としてたんだろーなーと思っていたけれど他にも平野であることやそれまでにその都市に空襲がなかったなどの条件があったことを知りました。そして、この横浜も候補になっていたことにおどろきました。そして、原爆の熱さは、太陽が上空600mにせまってきた時と同じ温度と聞き、屋外にいたんたちが消え去ってしまうほどの熱さと聞き、おそろしくなりました。
今日の授業を受け、原爆のおそろしさを知り、戦争は絶対におこしてはいけないと改めて思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今回，特別授業を受講して，今まで知らなかったことをたくさん知ることができました。自分は原爆投下について，「たくさんの方が亡くなってしまったこと」「広島と長崎にアメリカが投下したこと」など教科書でわかる範囲しか知りませんでした。実際に経験した方の日記は生々しく，想像以上に細かく書かれていました。

私は話を聞いていくにつれて，9日間のことを聞き，考えました。話しで1番驚いたのはテニスボールほどの大きさで広島の中心地を一瞬で灰色の世界にしてしまったということに驚きをかくせませんでした。私が今回このお話を聞けたのは本当に貴重でした。今度は私たちも次に伝えていかないといけないのだと思いました。3年生になったら広島平和記念資料館へ行きます。その時には心苦しくなってしまうかもしれないけど，ちゃんと自分の記憶に残さなければならないと思います。そしてそれを一言で済ませないようにしたいです。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

3/16

今回、原爆先生の話を聞いて、原爆とは恐ろしいものなんだなと思いました。原爆が投下された場所や時刻は知っていたが、その爆撃による影響についてはあまり知らなかったのでとてもためになる授業でした。途中、問題形式で、原爆による熱線の温度は太陽の表面の温度よりも高いことを知ってとてもびっくりしました。予想は高くても1000℃ぐらいと思っていたが、その7倍の7000℃ということに驚きました。このことから、この熱線をあびてしまった人はどのような感覚だったのか疑問に思うこともありました。また、熱線をあびた人はひっかたれてしまうことから、改めて原爆の悲惨さをしることができました。当時の技術ではまだ範囲は広くなかったけど、技術が進歩している今どのような破壊力になるのかと考えると恐ろしく感じました。他にも原爆ドームは当時「広島県産業奨励館」という所だったところが、今ではあんなにボロボロになってしまったことに、びっくりしました。しかし造りで頑丈だった建造物が一瞬であのようになってしまうことで、やはり戦争とはやってはいけないことなんだなと感じました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

自分は以前から原子力爆弾にはウランがつかわれていたことを知っていましたが、どれぐらいのウランがつかわれていたのかが知りませんでした。この授業でウランは、60kgつかわれていて反応したのはわずか1kgと分かってとても驚きました。それを聞いて60kgウランがもし反応したとしたらどれほどの威力があるのかを考えると、恐しく感じました。この授業でさらに驚いたことは原子力爆弾が爆発してできる球体の表面の温度です。この授業を聞く前はさすがに太陽よりも熱くはないと思っていましたが実際には太陽よりも1000℃高い7000℃だといってさらに驚かされました。この授業を聞いて核兵器の恐ろしさを改めて知らされました。来年の修学旅行ではこの授業で聞いたことを生かしてさらに平和について学習したいと思います。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の話しをきいて、自分がいままで知っていたことよりもはるかに、悲惨だということがわかりました。

話を聞くまえまでは、どのくらいの被爆者や死者などがいたのか、どのくらいいりょく（が）あったのかなどあまりわかりませんでした。ですが、原爆先生の話しをきいて、なぜ、広島をえらんだのかや、どのくらいの場所でばくはつをしたのか、死者がどのくらいでたのかなどをしることができました。その中で私が1番おどろいたのは、原爆の中心は、100万℃外は、7000℃と太陽の外がわの温度よりもたかいということをきいて、とてもおどろきました。3年生になって「原爆ドームや平和記念資料館にいったときに、原爆先生から聞いた、じっさいは、もっと悲惨だったということをかんがえながら、平和記念資料館や広島ドームを見にいきたいなと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

3/16

原爆がヒロシマ、とナガサキに落とされたことはもちろん知っていましたが、なぜ落とされたのか、考えたことがありませんでした。しかし、今回の講演で、くわしいお話を聞き ヒロシマとナガサキに落とされた理由がよく分かりました。また京都が強くおされていたという話を初めて聞き、驚き、とても勉強になりました。また、ヒロシマ とナガサキでは使われた原子爆弾が違うものだったということを初めて知りました。ヒロシマには、リトルボーイ、ナガサキにはファットマンが落とされたと聞き、原子爆弾には様々な種類があると知り、たくさん開発されていたと思うと怖いなと思いました。原子爆弾の威力で人が消えるように亡くなったという話は聞いたことがあったのですが 熱線と衝撃波によるものとは知らなかったので勉強になりました。私のかよっていた保育園にはきのこ雲の写真がかざられていて、毎日 目にしていました。しかしまだ小さかった私は、くわしいことはよく分かっていませんでした。今回のお話できのこ雲がどんなにおそろしいものなのかよく分かりました。今回勉強したことを忘れず、修学旅行や今後の学習に生かし、後世に伝えていきたいと思います。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

3/16

原爆先生の話を聞いて、知らなかった知識や話をきいて、おどろいたことがありました。

まず、ゴルフボールぐらいのウランで広島を、ここまではかいすることにおどろきました。また、その暴発で中心が100万℃、外側が7000℃、地面は3000℃という数字におどろきました。外側の7000℃だけで太陽の外側の温度を超えていてその爆発を受けた人は、熱いと感じる前に消えてしまうことにおどろきました。

原爆を落とすのにも条件が3つあって1つは直径5kmを超える町で、2つめは爆発の効果を効率よくするため平野、3つめがそれまでに空襲がなかったなどの落とす条件を初めて知ったり、原爆にはパラシュートを付けてなかったり、その暴発で生き残った人は肌が焼けおち人肉がむき出しの状態の人がたくさんいて想像するだけでおそろしいと感じました。

原爆先生の話を聞いて、学んだことを今後、来年の修学旅行で広島に行き昔は広島県産業奨励館だった原爆ドームに見に行くので、この知識をそれに生かしたいです。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆先生のお話を聞いて、原爆の悲惨さをあらためて感じました。僕は今回のお話を聞くまでは原爆は広島と長崎に投下されて多くの被爆者や死者が出すほどのおそろしいものというくらいにしか感じていませんでしたが今回のお話を聞いて、投下直後の広島や長崎の様子や投下後の被爆した人々の様子など現場のきん張感やおそろしさなどが自分が思っていた以上に悲惨で驚きました。また、原爆投下の候補になった「広島、小倉、長崎」に決まる前の候補に「横浜」があったことをお話を聞いて初めて知りとても驚きました。また、広島に投下された原爆に入っていたウラン60kgのうちの1kgゴルフボールほどの大きさのウランが広島市を焼きつくしてしまったというお話を聞いて、今は昔広島に投下された約1千倍ほどの原爆をもっていると聞いて、昔も今ほどの原爆を広島や長崎などに投下されていたら被害は広島や長崎だけにとどまらず世界中に被害が出てしまうかもと思いとても恐怖を感じました。今回のように原爆のお話を聞ける機会は少ないと思うので、今回のお話をしっかり忘れずに、3年生の平和学習にいかしていきたいと感じました。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して僕の印象に強く残っていることは3つほどあります。1つ目は原子爆弾の恐ろしさについてです。今まで「原子爆弾は危険な物」というのは知っていた。じゃあ、なぜ危険？と聞かれると、答えることは出来ない状態でした。しかし、特別授業を受講して、原子爆弾が爆発したときの表面温度が太陽の表面温度の6000℃を超える7000℃ということを学ぶことができました。今まで幼稚な言いちだが「太陽はとても熱い」という印象があったので、それを超える物が、一時的だった、しかもそれが、数キロ程度しか離れていないというところを想象すると、授業を受けた後の今でも「ゾッと」する。2つ目は、広島での原爆での死亡率です。広島人口34万人に対して、死者数14万人。これは死亡率40%という驚小弩の数字を指しています。ここでも原子爆弾の恐ろしさを感じます。3つ目は、原爆先生のお父さまの資料館の被爆者をモチーフにして、作った人形に対しての「キレイすぎる」という言葉です。この言葉を聞いて、原爆の悲惨さについて学ぶことができた。今回授業を受けて「戦争というあやまちを二度とおこしてはいけない」と考えた。なので、僕も原爆先生のように弟などの身近な人をはじめとして戦争を詳しく知らない人たちに、戦争や原爆の恐ろしさを伝えていけいければと思う。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

3/16

原爆先生の話をきいて、改めて、被害が大きくとてもむごいことだったと思いました。今までは被害が大きかった、という大まかな情報しかしらなかったけれど今回、具体的なグロテスクな表現をきいて思っていた以上に被害者の方は苦しんでいたということがわかりました。

そして、「原子爆弾投下命令の条件」、実際の原子爆弾の重さ、大きさ、それに入っている科学的な物質の量など、自分がまったく知らなかった、専門的なことも知ることができて、とても勉強になりました。

実際に経験してきた人たちが、経験していない自分たちの時代までうけついできてくれたことだから、これからの自分の学習につなげていきたいと思いました。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

私が、原爆先生の特別授業を受講し終わって、まず、1番最初に感じたことは、同じ人間同士なのに、こんな悲惨なことができる、米国への無念さです。同じ地球に生まれてきたはずなのに、まるで、違う星の人かのように、日本人を殺し、街を破壊していった、米国をにくらしく思いました。

太陽よりも熱く、とても大きく、重い、原子爆弾は、人々をあっという間にのみ込み、24万人もの被爆者、14万人もの死者を出し、建物もを破壊する威力を持っていたということを知り、自分の想像を遥かに超えていたため、驚きと悲しさが一気に込みあげて来ました。

また、原爆投下目的地に、自分の住んでいる場所が候補としてあげられていたので、他人ごとではないなと感じ、被爆した都市と、同じ国に住んでいる以上、この悲惨な出来事を後世に伝えていかなければならないと思いました。

私は、来年の修学旅行で、広島に行きます。今日、学んだことを生かし、実際にその場所へ行って、より詳しく学び、後世に伝えていきたいという思いになりました。今日のお話しは絶対に忘れることはできないものだと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

僕は今日、原爆先生のお話しを聞いて、戦争はとても、おそろしいものなんだな。と改めて思いました。原爆や戦争のお話しは、小学校のときも聞いたことがあったけど、今日、池田先生が話していた内容は、どれも、今までに聞いたことがない情報ばかりで、とても驚きました。　小学校などでは、原爆が、落とされた広島は、とても熱くなり、すごい衝撃だった。までしか教えてくれませんでした。けど、今日は、その後陸軍の人が、死んだ人たちを探して、見つけた人たちを、ガソリンで、火をつけ、焼却やしていたり、死んでいない人も、全身やけどを負い、ボロボロの状態だった。など、戦争のより、悲惨なことを教えてくれました。その話を聞いて僕は、こうやって、原爆の悲惨さを、新しい世代に伝えて、平和な、世界になっていくんだなと思いました。　僕の父は広島県出身で、1度、原爆ドームに、つれていってもらったことがあります。そのときはまだ、小さくて、原爆ドームが、どういうところかあまり、理解していなかったので、あまり、印像には、残りませんでしたが、今、思うと、同じように被災を受けた、原爆ドームのまわりは、"本当にここに原爆が落とされたのかな"と思うくらい、にぎやかで、明るい、ふんいきでした。僕は広島の人はすごいと思いました。原爆が、落とされて、家族を、うしなった人、家を、うしなった人、みんな、無事ではなかったのに、今は、そんなこと感じないくらい明るかったので、僕も、どんなに、つらいことがあっても、前に進もうと思います。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

3/16

私が池田さんの話を聞いてまず、最初に思ったことは、「想像つかないな」と思いました。今の現実とはかけ離れすぎていて、原爆が本当に落とされて被害をうけた人がどのような思いをしていたのか、私には分かりませんでした。

ですが、池田さんが話して下さったことを思い返すと、亡くなられた方と被爆者の方、それを見て救いたくても救えなかった池田義三さんのことを思うと、とても悲しくて私もつらくなります。逆に、その悲惨なことをした人は、どのように思ったのか私は気になりました。

また、資料を見て疑問に思ったことは、候補になった都市の中でなぜ"京都"が除外されたのかです。池田さんの話を聞いてもなお、私は疑問に思っています。京都に落とさなかった1つ目の「古い建物を壊すわけにはいかない」という理由は分からなくもありませんが2つ目の「日本人の感情のはけ口」という理由が私にはとても疑問に思いました。

今回の授業を通して原爆、戦争はとてもこわいとあらためて思いました。当時の人の心情を全て理解することはできないかもしれませんが、今回の話を資料館に行くときなどに活かし、私たちだけではなく後世に伝えられるように絶対忘れないようにしていきたいです。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業を受講して今まで以上に広島、長崎の原爆についてふかく知りました。まずびっくりしたのが原爆をおとす候補に自分が今いる横浜や京都があったことです。さらに長崎では、なん本当は小倉におとそうとしていたなんて知りませんでした。アメリカの人たちがもし小倉におとすことをしっぱいしなかったら長崎の人たちは、亡くならずにすんだと思ったり小倉の人たちには、きもちがおこったなと思ったりとてもふくざつな気持です。原爆にそれぞれ名前があったことやこんなに重かったとは思いませんでした。あるマンガで広島の原爆がおちたあとの原爆をくらった人々のようすは、しっていましたが、今回話を聞いているとそれよりすごかったことがよくわかりました。今回の特別授業を通して聞いたことをいかして3年生になって広島にいく時にこのことを思い出しながら広島平和記念資料館や原爆ドームを見たいと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆についてあまり知らなくて、今回特別授業をうけて、どのようなことがあったのかをしれてよかったと思った。

今回1番おぼえていることは、ビデオを見たことです。私はこのビデオを見てばくだんがばくはつしたときの衝撃波がすごくてとてもビックリしたし、人が、とおくにとんでいくのをみて原爆はとてもこわいと思った。広島に投下された原爆「リトルボーイ」はすごく大きくてびっくりした。ラジオゾンデをうかって、かぜのむきや、ぼうふうのむきなどをはかっていてすごいと思いました。でも時速300キロでとんでくるのは少しこわいと思った。原爆先生の最初の話しをきいて、ばくだんのひがいにあった人は、ひふがはがれおちていて、あかくなっているときいてかわいそうだなと思いました。自分の知らないことがたくさんきけてよかったし、原爆はおそろしいものだとあらためてじっかんした。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

3/16

私は、今まで広島に投下された原爆は、1つではなく何十個も投下して被害が大きくなってしまったと思っていたはれど、今日の原爆先生の講演で、たった1つの原爆で何万人もの命をうばってしまったと聞いてとても恐怖を感じました。

そして、原爆を投下する候補になった都市の中に、横浜と京都がでていて驚きました。横浜は、日本の首都の東京の近くで人口が多く、原爆が投下されていたらもっとたくさんの人が被害を受けて亡くなってしまったかもしれないし、京都は「古都」と呼ばれるほど、日本の文化や歴史がたくさん残っていて大事にされているのに原爆で今までの文化などが一瞬で失ってしまうと思うと、とても悲惨だからです。

今日の講演で知った悲しみや恐怖、苦しみを忘れずに今、帰る場所がある事、学校に行ける事に感謝し、1日1日を大切にしていきたいです。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

3/16

私は今回の話を聞いて、原爆のひさんさが改めて良くわかりました。
以前、私は「はだしのゲン」というマンガを読んだことがあり、被爆した人の悲しさを少し知っていたのですが、話をしてもらい、
「手をとり、ひっぱろうとすると、手の七つがはがれ落ちる」
「水が蒸発した川の中で、人がゆでダコのようになっていた」
「まだ生きている人の傷口から、大量のうみとハエの卵が出てきた」
などの表現を聞き、原爆の被害は、私が考えていたものよりも、はるかにおそろしいものだということが分かった。また、爆弾の温度が7000ともあり、それが太陽の表面の温度よりも高いことや、衝撃波の速さが音速をこえていることや、真空地帯に空気がながれこむことによってできる上昇気流が、宇宙までとどいたことに、とてもおどろいた。
そして、広島に投下された爆弾では、ウランがたったの1kgしかかく分れつしていないことに驚いた。また、現在ではこれの60倍以上の威力のものが、1万5千個も存在していることに恐怖を感じた。

原爆先生の特別授業を受講(じゅこう)して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて、心に残った話が2つあります。1つ目は爆心地である元安川の様子についての話です。「元安川の水が減っていた」という言葉を聞いて、原爆の被害がどれほど大きかったかを想像することができ、とても驚きました。元安川に浮かんでいる死体を運んでいる時の義三さんの気持ちが強く心に残りました。「今すぐここから逃げ出したい」という気持ち、とても共感することができました。2つ目は死も率の話です。原爆によって約14万人、広島市人口の約40%もの人が亡くなっているという話を聞きました。この話を聞いて、驚きと同時に原爆の恐ろしさを知ることができました。

この特別授業を聞いて、原爆を使ってはいけないと思うきっかけになりました。この気持ちを忘れずに、来年の修学旅行に行きたいと思います。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

先日はお忙しい中、私達日吉台中生の為に時間を割いて講演を開いて頂き、ありがとうございました。

私は今まで、このような映像やお話を見聞きする機会が少なく、原子爆弾の威力や恐ろしさがよく分からずにいました。ですが、今回の講演でその悲惨さを痛感しました。学校で受ける授業では感じることのできないことだったと思います。そして、それは私だけでないと思います。

私が池田先生のお話で1番印象深かったのは、投爆地の候補に横浜があったことです。私は心のどこかで「神奈川県民の私には関係の無いこと」と思っていた節があったと思います。だけど、候補地に横浜があったと知り、いきなり戦争を身近に感じました。そして、私と同じように考える神奈川県民も少なからず居ると思います。なので、この事実を後世に伝えゆくべきだと思いました。この思いを忘れることなく、来年の広島修学旅行で学びを深めたいと思います。

戦争犠牲者の方々のご冥福を心からお祈り致します。

お身体にお気をつけ、これからも特別授業で後世に語り継いで下さい。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島と長崎に原爆が落とされたのは知っていたけど，候補になった都市が他にもあったということを初めて知ったし，最も推されていたのが京都だということに驚きました。また，原爆が落とされたときの広島の被爆率が70%で死亡率が40%ということを聞いて，原爆は自分が思っている以上に恐ろしいものなのだなと感じました。体中の水分が蒸発し，炭化して衝撃によってばらばらになるということなどを聞き，とてもゾッとしました。話を聞いているときに原爆が落とされた時の音が流れて，驚きと恐ろしさが一気にきて，心臓が止まるかと思いました。3年生での修学旅行で原爆ドームや平和記念資料館に行くので，今回聞いた話を思い出しながら，平和について，原爆についての考えをより深めていきたいなと思いました。また，平和の大切さや原爆の恐ろしさを自分以外のたくさんの人に理解してもらいたいと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆について7000℃ほどの高温になることなどは知っていましたが、衝撃波が二回来る理由などはあまり深く理解していませんでしたし、当時の人の体験談をきいたことがなかったので今回の原爆先生の特別授業を受けさまざまなことを知れてよかったです。当時の技術では60kgのウランの内の1kgしか核分裂できなかったのにあれほどの災害が出たのに対し、今では技術が進み、広島で使われた爆弾の約1000万倍もの爆弾が作られ、たくさんの国がその爆弾を持っていることの恐ろしさ、異常さを知り、非核化というものをもって真剣に考え、取り組まなければならないと感じました。ですが、アメリカが最初は京都に原爆を落とそうとしていたが重要な文化財があるから広島に落とすことに変えたということをきいてちゃんと日本のことも少しは考えてくれていたということを知りました。一方、今、北朝鮮で核兵器が作られていますが、北朝鮮が何も考えずに、核兵器を使ってしまったらもう次は無いと言ってもおかしくはないので絶対に北朝鮮の動きをできるだけ速く止めなければならないと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで私は原爆について広島におとされたことしか知りませんでした。ですが今日の特別授業を受講して広島でなにがおこったのかくわしく聞き驚きました。私は今まで火傷の酷い人達がいるという想像をしていましたが実際は火傷よりもひどく皮がはがれおちてしまうほどの熱さだったと知りました。水の中に入れば安全だと思ってはいったらすぐに水がふっとうしてしまったなど逃げたくても逃げられないじょうたいだったというのがショックでした。私はこのことを聞いて、ぜんぜん想像ができませんでした。皮がはがれてしまうなど日常ではありえないことなので、けがをした人達はとても怖い思いをしたんだなと思いました。

今日、原爆先生の特別授業で学んだことを一生忘れずにいたいと心から思いました。今でも外国ではまだ戦争が続いていて、昔の日本みたいなじょうきょうがあるというのはとても悲しいことだとあらためて思いました。3年生になったら行く広島で今日聞いたことを忘れずに広島平和記念資料館で写真などをじっくり見て戦争のおそろしさを今よりも知りたいと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

今回の原爆先生のお話を聞いて、原爆は改めて、悲惨なものだと思った。特に印象に残った部分は熱線についてのことだ。7000℃という、太陽よりも熱いものが、東京スカイツリーくらいの高さから落ちてくるような感じということを知ってとても驚いた。また、円状の中心部は100万℃という、自分が想像していたよりもすごく、今では考えられないことだと思った。

地面は3000℃もあり外にいた人たちは、あとかたもなく焼死してしまったということを聞いて、とても苦しい気持ちになった。

他にも、広島に投下された「リトルボーイ」について、重さは4トンもということが衝撃だった。リトルボーイの中に60kgものウランという物質が入っていたということを初めて知った。

このことは忘れずに、私たちから後世につなげていこうと思った。また、3年生の修学旅行では広島に行くので、実際に自分の目で見て今回学んだことを活かしていきたいと思った。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

私は小学生の時広島をおとずれ原爆ドームを実際に目のあたりにしました。骨組みだけとなった原爆ドームを見て衝撃を受けたことやあの時一人で広島平和記念資料館に行った母の顔が印象に残っています。資料館から出てきた母の顔はとても青ざめていて、しばらくの間口を閉ざしていました。当時の私は、資料館には想像を絶するような悲惨な被爆の被害を受けた人々の様子や写真などが展示されていたんだろう、と思いました。しかし今日池田さんの講演の中で池田さんの父、義三さんは広島平和記念資料館をおとずれて「きれいすぎる。」という一言だけはしたとありました。その「きれいすぎる。」という言葉で広島におとずれた時に覚えた恐怖以上の恐怖を覚えました。原爆の被害というものはどれほどに悲惨なんだろう。悲惨や恐怖などというありきたりな言葉では表現できないようなひどさなんだと知りました。私は原爆というものを深く考えているつもりでありましたがそれはとても浅はかなものなんだと気づき考えを改めるべきだなと思いました。前半の部分で義三さん目線で語られた当時の様子はとてもリアルなものであり、自分で意識しなくても当時の情景が浮かんできました。話をきいているうちに胸が苦しくなってくるほどに原爆について深く、考えさせられました。お礼の謎にもありましたが、今日学んだこと、考えたこと決して忘れず、後世に伝えていくべきだと強く思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

3/16

この特別授業を受ける前の自分の中での原爆はただ爆発の威力が大きく、爆発範囲が広いという知識しかありませんでした。ですが、この授業を受けて原爆には、爆発の時の衝撃波、熱線、少し前に話題になった放射線があるという事が分かりました。また原爆を被爆したら、皮ふ、がやけどして、すごく苦しい痛みにおそわれるなど、自分の思っていた以上に原爆の恐ろしさを実感しました。また、疑問に思ったこともあり、原爆には60kgのウランがあったのにもかかわらず、1kgしか爆発していないのは何だろうと思いました。もう一つ疑問があり、原爆を落とす候補に、京都が候補としてあがっていて京都の周りには山があり囲まれているのが京都です。そこに原爆を落としたら効果的なのに、どうして除外されたのだろうかと思いました。日本は文化国であるのに、「文化財があるから」という理由で除外しました。自分だったら、どんな理由でも落とすのになぜだろうと思いました。これからは、この原爆の恐ろしさをいろんな人に知ってもらって戦争や原爆はいけないと広めていきたいと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して（じゅこう）

表

名前は裏面に記入してください

今日は原爆についてお話をしてくれてありがとうございました。
私は小学校2年ほから5年間長崎に住んでいました。なので毎年8月9日に学校に行って原爆の恐しさを知り午前11時2分にはもくとうをしました。今まで私が知っていたのは広島と長崎に爆弾をおとされた日、爆弾の名前などでした。
でも、今日知ったのは、原子爆弾投下都市の条件や、候補になった都市など初めて知ったことがたくさんあってとても驚きました。
特に気になったのは広島におとされた爆弾"リトルボーイ"です。
リトルボーイを日本語に直すと小さな少年、体重3.2t重量約4tもあってなぜリトルボーイと名前をつけたのか疑問になりました。長崎におとされたファットマンの重さは約4.6t重さでは広島の方が少し軽いけど大きさ的に違うんじゃないかなと思いました。
家に帰ったらなぜリトルボーイとつけたのか調べたいなと思いました。
6月の修学旅行で広島に行くので今日学んだことをいかして取り組みたいなと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回原爆先生の原爆についての話を聞いて、原爆の恐るべき力やそれのせいで亡くなってしまった被爆者の無惨な姿などその様子がどんな感じだったのか精密には分かりませんが、少しだけ想像出来ました。そしてこの話を後世に伝えていきたいと、そう思いました。僕はもう二度とその地獄絵図を起こさないようにどうすれば良いのか考えました。あまり良い方法かは分かりませんし、それが全て正しいのかも分かりませんが、僕は1人1人が優しい心を持つ事が出来れば平和になるのではないかと思います。今日は特別授業を受講させてもらえてとても勉強になり、良かったです。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

○原爆先生の話を聞いて、思ったのがその人たちの苦労と悲しみがあって大変だと思いました。理由は、原爆が落ちて熱さの中ただ助けを求め、軍の人たちはその人たちを助けようとしても助けられなかった人たちがいて自分を責める人たちの悲しみと怒りがふえてくばかりで、苦労した人たちがいたことを知ったからです。でも、少なくとも今はそういう事は少ないけど、昔は今よりももっとひどい時代だったことがわかりました。今回はありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田先生のお話を聞いて、まず思ったことが原爆に対しての恐ろしさ、そして怖さです。原爆が広島に落ちたというビデオを見させて頂きましたが、落ちた時は、当たり一面が爆風におおわれ、大勢の人たち、家や建物などが被害に合い、悲惨な出来事だということを改めて思いました。また原子爆弾が落とされる候補になった都市に広島・小倉・長崎の方に、横浜も候補に入っていたので驚きでした。横浜にもし、原子爆弾が落ちてしまったら、街が大変な騒ぎになっていたと思います。焼け殺されるような熱さだったという事を知って、原爆の恐ろしさを感じました。さらにお話の中でも紹介していましたが、原爆ドームについてのことで、爆弾が落ちる前には広島県の産業奨励館だったことは初めて知りました。今日は原爆について初めて知る事などを教えて下さいました。このお話を後世に伝えていきたいです。そして、3年生での修学旅行で原爆ドームを実際に見るわけですが、実際に見つつ、平和の事を考えられたらと思います。